

この冊子を活用してごみの分別を推進しましょう!

- ごみ減量の基本は3R「リデュース」「リユース」「リサイクル」です。
- 毎日の暮らしを見直し、ごみを減らすためにできることから始めましょう。

3Rとは (スリーアール)

Reduce (リデュース) = 発生抑制

ごみになる物を家に持ち込まない

- 無駄なく買い物を楽しみましょう
- 詰め替え商品を購入しましょう
- 商品は包装が少ないものを選びましょう
- マイバッグを持参しましょう

Recycle (リサイクル) = 再生利用

いらなくなった物をごみとして出す前にもう一度資源になるように努める

- 資源物は正しく分別してリサイクルしましょう
- リサイクルされた製品を買きましょう
- 集団資源回収に参加しましょう

Reuse (リユース) = 再使用

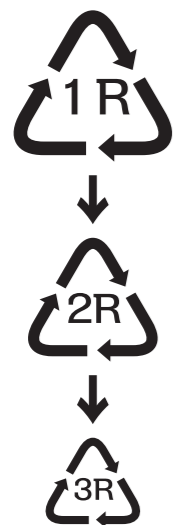
物を捨てないで生かして使う

- 詰め替え容器を利用しましょう
- なるべく修理して使いましょう
- 衣類はリフォームして着ましょう
- フリーマーケットやバザーに参加しましょう

循環型社会実現に向けての取り組みの展開

限りある資源の消費を抑制し、環境への負荷を低減させるためには、ごみとなる物の発生と、ごみそのものの発生を抑制することが重要です。そこで、発生抑制を第1の優先取り組み事項とし、その次に、再使用、再生利用の拡大を図る3R施策を推進していきます。

3Rの優先順



Reduce (リデュース) ごみを減らそう!

できるだけごみは作らない。無駄なものは買わない、もらわないようにしましょう。

Reuse (リユース) くり返し使おう!

まだ使えるものは、ごみにしないで、別の使い方を考えましょう。

Recycle (リサイクル) 再び資源として利用しよう!

ごみとして捨てる時は、大切な資源として活かせるように正しく分けて出しましょう。

一言に3Rといっても、優先順位があります。

第1に、ごみを減らすこと。これは、ごみとなるものを作らないようにすることです。

第2に、くり返し使って、製品としての寿命を延ばし、ごみになることを遅らせます。

第3に、資源としてもう一度使うために、分別収集し、再資源化を行います。

再資源化には、物質として再び使用するマテリアルリサイクルと、物質としての使用が難しい場合に熱源として利用するサーマルリサイクルがあります。

保存版



家庭ごみの 分け方と出し方



東北のウイーン「楽都」郡山



自ら行動して地球環境を守るまち

3Rフェスティバル2017 ポスターの部 最優秀作品 (薫小2年 山口 雄奨さん)

保存版 家庭ごみの分け方と出し方

平成30年3月

編集・発行 郡山市
 問合せ先 生活環境部清掃課
 〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号
 TEL 024-924-2181 FAX 024-935-6790
 印刷 株式会社ライト・エージェンシー



紙へリサイクル可 この印刷物は、古紙配合率100%の再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。

